

企立第288-3号
令和3年3月8日

各経済団体 代表者 様

埼玉県知事 大野元裕
(公印省略)

「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」等による
感染拡大防止対策の徹底について（依頼）

本県の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施につきまして、日ごろ格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本県では、現在、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、県内全域の飲食店等を対象とした営業時間短縮要請等の緊急事態措置を実施し、感染拡大防止に努めているところですが、この度、緊急事態措置を3月21日まで延長することといたしました。

つきましては、更なる感染拡大を防止するため、貴団体の会員の皆様に対し、下記事項を依頼していただきますようお願いいたします。

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた取組に積極的に取り組んでいただきますよう、御協力をよろしくお願いいたします。

記

- 1 「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」及び業種別のガイドラインを使用・遵守し、感染症対応を徹底すること。
- 2 「感染リスクが高まる『5つの場面』」（新型コロナウイルス感染症対策分科会提言）を避ける行動を徹底すること。（特に、「居場所の切り替わり」に注意）
- 3 飲食の際は、昼夜を問わず「マスク飲食」「黙食」「個食」「静美食」「ランチの時もマスク」を徹底するよう従業員等に呼びかけること。

(問い合わせ先)

彩の国「新しい生活様式」安心宣言事務局
(埼玉県産業労働部企業立地課)

電話番号 048-830-3779

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、感覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、長時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクログロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

